

# 経験をつなぐ - 「小繋事件文庫」の取り組みと可能性 -

発題者

早坂啓造さん（岩手入会・コモンズの会、岩手小つなぎの会）

山本早苗さん（関西学院大学大学院奨励研究員）

小繋事件は、岩手県一戸町小繋地区で、約60年にわたって争われた一連の入会権訴訟事件です。近代的土地所有権の確立をめざした明治政府の政策の下、それまで村人の暮らしを支えてきたムラ山が個人の名義として登記され、転売。自分たちの山に入ることが「犯罪」とされてしまった人々が入会権を主張し、闘いつづけてきた事件です。

「村の人間は、山あかにして、山のものをとったり伐ったり、煮たり、焼いたりして、そやして暮らしたんだ。どこでもそれが当り前の暮らしだった。法律というものは後から出てきたんだ。後からでてきて、ああだこうだと理屈をつけた。頭の良い、ずるい奴がその法律をつかって、山あわがものにしようとしたり、わがものにしたりしたが、まえから山を使ってきた人間の権利は、なくなるもんでねえ。・・・」（篠崎五六『小繋事件の農民たち』勁草書房、1966）

この語りに代表される、小繋の人々の経験は、森や土地をめぐる紛争が激化しているアジア各地の人々の声と重なりあっています。そして、現代を生きる私たちに、法とは何か、近代化とは何か、人と自然はどう関わりあっているのか、深く問いかけています。

10月のいりあい・よりあい勉強会では、日本社会で忘れられつつある、小繋事件の記録や資料の現代的価値をみつめ、岩手大学「小繋事件文庫」設置に奔走されてこられた早坂啓造さんをお招きします。文庫設置の経緯や目的、蒐集資料の内容、将来にむけてのビジョンについてお話しいただき、小繋事件の経験を現代、世界、そして次世代につないでいく意義と可能性を、皆さんと話し合いたいと思います。

また、去る9月初旬に小繋集落訪問と文庫見学を企画・実施された「コモンズ研究会」の山本早苗さんに、訪問の印象記などを簡単にお話いただく予定です。

多くの方々のご参加、お待ちしております。

1960年前後の小繋の様子を撮影した写真家川島浩氏の作品も当日一部展示します。お楽しみに！

日時：2006年10月27日（金）19:00～21:00

場所：早稲田奉仕園（キリスト教会館6階6AB）[定員40名]

東京都新宿区西早稲田2-3-1（tel:03-3205-5411）<http://www.hoshien.or.jp/map.html>

・高田馬場駅から都バス「早大正門行き」2つ目「西早稲田」下車徒歩2分

・地下鉄東西線「早稲田」駅下車徒歩5分

資料代：500円

問い合わせ：いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-17-10 稲穂コーポ2A

Tel/Fax: 03-3204-1316 E-mail: [i-i-net@zj9.so-net.ne.jp](mailto:i-i-net@zj9.so-net.ne.jp)

Website: <http://www.i-i-net.org/>

参加ご希望の方は事前に事務局までご一報をお願いします。

いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク（あいあいネット）

コミュニティを基盤とした資源管理と自治に関心をもち調査研究・経験交流を進める、アジア・日本のNGO/NPO関係者、研究者、住民のネットワークです。トヨタ財団の研究助成をうけ、日本・インドネシア・インドを中心に、自然資源管理（いりあい）と住民自治（よりあい）に関する共同調査・経験交流（まなびあい）の活動を展開中です。